

第4学年 音楽科

教科目標

進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにします。音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにします。

学習計画

月	単元・題材名	時数	学習活動
4	歌と楽器のひびきを合わせよう ・リズムにのってみんなで合わせましょう。「いろいろな木の美」	4	・旋律の特徴を生かして歌い方を工夫する。 ・リズムパターンをつくったり楽器の組み合わせを工夫したりして、歌に合わせて演奏する。
	・歌と楽器のひびき合いを感じながら演奏しましょう。「歌のにじ」	2	・曲想を感じ取って、柔らかい声の出し方や生き生きとした歌い方などを工夫する。 ・主旋律と副次的な旋律やつくったふしを組み合わせる響きの美しい表現を工夫する。
5	「とんび」 日本の音楽に親しもう ・きょう土の音楽をききましょう。	2	・主旋律と副次的な旋律を重ねて、響きの美しい表現を工夫する。
	「花がさおんど」「神田ばやし」 ・日本のふしを歌いましょう。	4	・旋律の特徴や楽器の響きの違いを感じ取りながら郷土の音楽をきく ・郷土の音楽を聴き比べたり、インターネットなどで調べたりする。
6	「こきりこぶし」 いろいろな音のちがいを感知取ろう ・いろいろな音を集めましょう「音集め」	5	・伸び伸びとした歌声で歌う。 ・音色を選びながらリズム伴奏の組み合わせを考え、歌に合わせて演奏する。
	・音の組み合わせをくふうしてえんそうしましょう。「音のカーニバル」 ・木管楽器の音をききくらべましょう。 木管楽器の音楽（とんび）	4	・楽器やものの材質、奏法によって音色が違ったり変化したりすることに気づく。 ・奏法や音の組み合わせ方を工夫して、音作りを楽しむ。
7	・ふしのとくちょうを感じ取ろう ・ふしの感じのちがいをききくらべましょう。 「あいのあいさつ」「ピチカートポルカ」 ・ふしの感じを生かしてえんそうしましょう。 「陽気な船長」「あたらしいえがお」	2	・歌詞の内容やリズムから感じ取った曲の雰囲気や表情豊かに表現する。 ・音の特徴や音色の違いを生かし、イメージに合う音の組み合わせを工夫する。
	・曲の気分を感じ取ろう ・曲の気分を生かして歌いましょう。「友だちシンドバッド」	2	・木管楽器の形や音の出る仕組みの違いに気づき、音色の違いやその美しさを感じ取る。 ・主な旋律に合わせて、それぞれの楽器を演奏するまねなどの身体表現をする。
9	・サミングをおぼえて、ふしの感じをいかしてえんそうしましょう。「オーラリー」 曲の気分を感じ取ろう	2	・それぞれの曲のよさや美しさを感じ取るとともに、2つの曲を聴き比べて、それぞれの旋律の特徴を感じ取ったりする。
	・曲の気分を生かして歌いましょう。「友だちシンドバッド」	5	・レガートやスタッカートなどの表現に気を付けて歌い方や演奏の仕方を工夫する。 ・旋律の特徴を感じ取って、表情豊かな表現を工夫する。
10	・様子を思いうかべながらきききましょう。「つるぎのまい」 ・曲の気分を生かして演奏しましょう。「冬の歌」	4	・サミングの奏法を覚え、リコーダーの高音域の演奏になれる。 ・旋律の特徴を生かし、美しい響きを味わいながら、二重奏や二部合奏を発表し合う。
	・曲の気分を感じ取ろう ・曲の気分を生かして歌いましょう。「友だちシンドバッド」	2	・歌詞の内容をもとに歌い方を工夫する。 ・音楽の速度や強弱、盛り上げ方などを工夫しながら、楽しく伸び伸びと歌う。
11	・曲の気分を生かして演奏しましょう。「冬の歌」	2	・曲の気分に合わせて身体表現を工夫しながら聴く。 ・場面を想像しながら、色彩豊かなオーケストラの響きを味わう。
	曲をきき合せて合わせよう ・ふしの重なり合いを楽しみながら歌ったりきいたりしましょう。「パレードホッポー」「旧友」 ・きれいなひびきで合唱しましょう。「空に雲に」 「おどろろ楽しいポーレチケ」	5	・曲の気分に合わせて歌い方を工夫する。 ・歌とリコーダー、つくったリズム伴奏を組み合わせる演奏する。
12	・音の重なりを感じながら合奏しましょう。「茶色の小びん」 生き生きと歌おう ・リズムにのって歌いましょう「歌よひびけ」「クッデグッバイ」	3	・旋律を重ねて歌い、声の重なり合う響きのおもしろさを感じ取る。 ・2つの旋律をくちずさんだり、重なり合う響きの美しさを味わったりして聴く。
	・曲の気分を生かして演奏しましょう。「冬の歌」	3	・声の重なり合う響きの美しさを味わいながら、部分二部合唱を楽しむ。 ・歌う曲を選択して発表し合い、合唱の楽しさを味わう。
1	・曲の気分を生かして演奏しましょう。「冬の歌」	5	・各パートの旋律の重なりを感じ取りながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫し、響きの美しい合奏にまとめる。
	・曲の気分を生かして演奏しましょう。「冬の歌」	4	・歌詞にこめられた気持ちを感じ取って、心をこめた歌い方を工夫する。 ・柔らかく響く歌声で部分二部合唱を楽しむ。
授業時数の合計			60時間

音楽科の評価は

観点	評価基準	評価方法
関心・意欲・態度	・進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとしているかどうかという観点から見ます。	・学習態度 ・演奏内容、演奏の様子 ・歌唱内容、歌唱の様子 ・音楽ワーク ・テストなど総合的に評価します。
音楽的な感受や表現の工夫	・曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫しているかどうかという観点から見ます。	
表現の技能	・音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気を付けて楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているかどうかという観点から見ます。	
鑑賞の能力	・音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴いているかどうかという観点から見ます。	

